

令和2年度 小平市立小平第五小学校 学校評価計画表

学校教育目標 すすんで学び 元気で 思いやりのある子

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 地域と連携し地域とともに歩む学校(家庭・地域と協力関係を築き、互いに貢献し合う関係を目指す)
- 【目指す児童・生徒像】 何事にも本気で取り組む 子ども (子ども自らが知識を身に付け、すすんで学習に取り組む)
- 【目指す教師像】 「教えるプロ」としての自信をもち、使命感をもって教育に取り組む教師 (分かる授業 考える授業 ともにつくる授業)

前年度までの学校経営上の成果と課題

成果: 研究を通して「児童の追究する力の向上と関わり合いの向上」が見られた。いじめに対する組織的対応を進められた。行事や会議の精選を進めることができた。
 課題: 必達目標を明確にし、基礎・基本の定着を確実に進める。時間内の学年会などを有効に機能させるなどさらに働き方改革を進める。

	具体的方策	第1回評価		課題と対策	第2回評価		学校関係者評価	課題と次年度以降の対策
		努力目標	成果目標		努力目標	成果目標		
学力向上	全教員が、校内研究等で研究授業を行うとともに、毎学期の授業観察では授業のチェック表に基づいて授業を自己分析し指導を受ける。							
	各学年毎に学びの「必達目標」を設定し、基礎的・基本的内容の定着を図る。							
いじめ防止	いじめに関する授業を年5回実施し、いじめゼロを目指す。							
	いじめ調査を定期的を実施し、実態を把握して組織的な対応に取り組む。							
業務改善 (働き方)	出退勤システム等で、一人一人が出退勤について自己管理できるようにする。勤務が19時を超える場合は「やむを得ぬ残業の申請書」を提出する。							
	時間割を工夫し授業時間中に実施する学年会の設定、会議の効率化、行事の精選をすすめる。							